



## 専務理事方針

堀 拓矢

中津川青年会議所は、まちの発展を想い行動し続けてきた団体です。今後もまちの発展に寄与するためには、各々が自身に任された役割を理解し行動することが重要です。そのためには日頃から、メンバー同士が、夢や、理想とする組織やまちについて語り合い、相手のことを理解した上で、その実現に向け想像力を働かせ行動を起こしていくべきです。そうすることで「誰かのために」行動できる人財が増え、ひいては、まちの原動力となる組織になると考えます。

在籍年数が浅いメンバーが増えてきた今だからこそ、一人ひとりがまちを担う中津川青年会議所の一員であるという自覚を強く持ち、より良い組織へ変えていくための行動をしていかなければなりません。そのためには多くの知識と経験が必要です。だからこそ、まずは自身で考えた上で、組織内のみにとどまらず、より広い視野で、新しい発想を得られる機会を積極的に掴みに行くことが重要です。そうすることで初めて、受け継がれてきた伝統を継承するだけでなく、その伝統に内在する本質を理解でき、時代に即した組織に変えていく具体的な行動が起こせるようになると思います。その先に、自律した行動ができる人財が溢れる組織が築かれると考えます。

私は青年会議所活動の中で、様々なことを経験させていただきながら、多くの気づきと成長の機会を与えていただきました。私は専務理事として、中長期的な成長が実現できる組織の構築に寄与して参ります。

### <事務局>

渉外業務においては、対外事業のみでしか経験できない貴重な体験や、仲間との絆を強くする機会です。その価値をメンバーが最大限享受していただける設えを事務局には考えていただきたい。会務業務においては、メンバーが本質的な議論に集中できるよう、わかりやすいルール作り、資料作りに重きを置き活動をしていただきたい。